



平成28年度第2次補正予算の概要 (林野庁関係)

本補正予算は、8月2日に閣議決定された経済対策に基づくもので、同対策では「Ⅱ・21世紀型のインフラ整備」の項目で農林水産業の競争力強化策が盛り込まれたほか、「Ⅳ・熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化」の項目で熊本地震からの復旧・復興対策が明記されています。

予算額については、8月24日に閣議決定され、林野庁の補正予算総額は1,022億円(昨年度補正予算592億円)と前年度の倍近い額となり、特に公共事業費で663億円(昨年度補正予算277億円)と、大幅な増額となりました。

10月11日の国会での予算成立以降、事業ごとに必要な予算執行の手続を順次進め、早期実施に取り組むこととしており、その事業の内容を以下にご紹介します。

林野関係合計 1,022 億円

(単位: 百万円)

| 項目 | 補正追加額 | | |
|-----------------------------------|----------------------------|--------|----------------------------|
| | 公共 | 非公共 | 計 |
| 森林整備事業・治山事業 (森林整備事業 治山事業) | 41,000 31,000 10,000 | | 41,000 31,000 10,000 |
| 災害復旧等事業のうち山林施設災害復旧等事業 | 25,286 | | 25,286 |
| CLT利用促進総合対策 ^(※) | | 1,000 | 1,000 |
| 合板・製材生産性強化対策 | | 33,000 | 33,000 |
| 「クリーンウッド」利用推進事業 | | 150 | 150 |
| 鳥獣被害防止対策のうちシカによる森林被害緊急対策事業 | | 100 | 100 |
| 地域材利用拡大緊急対策事業 | | 500 | 500 |
| 熊本地震木材加工流通施設復旧対策事業 | | 160 | 160 |
| 国立研究開発法人森林総合研究所災害復旧事業 | | 1,050 | 1,050 |
| 計 | 66,286 | 35,960 | 102,246 |

※ 1,000百万円のほか合板・製材生産性強化対策で実施(33,000百万円の内数)

合板・製材生産性強化対策

体質強化計画

〔川上から川下の関係者が共同して作成する加工施設の整備、原木の安定供給等に関する計画〕



体質強化計画策定に参画している事業者に対して都道府県経由で支援

(都道府県が木材加工業者、森林組合、流通事業者等と体質強化計画を共同策定)



合板・製材の 国際競争力の強化

●CLT利用促進総合対策 (10億円+330億円の内数)

本年4月までに出された建築基準法に基づく告示も踏まえてCLTの普及を加速させ、CLT製造コストの低減とCLT需要の喚起という好循環を目指します。

そのために、CLT等を活用した実証的な建築物の建築に向けて、コスト縮減などに先駆的に取り組む場合、その設計、建築に係る費用等を支援します。

また、合板・製材生産性強化対策により木材加工流通施設の整備を支援していますが、CLTを製造する施設整備については、優先的に採択します。

●合板・製材生産性強化対策 (330億円)

昨年のTPP合意を受け、合板・製材の生産コスト低減等により国際競争力を高めるため措置した合板・製材生産性強化対策について、本補正予算でも引き続き実施します。

この対策により、①地域材の競争力強化に資する大規模・高効率の合板・製材工場等の整備と、②合板・製材工

場等に対して原木を低コストかつ安定的に供給するための間伐・路網整備を一体的に支援します。

なお、対象地域は、昨年度補正予算について体質強化計画を策定した全国の12地区を対象としており、基金方式は採らず、単年度の交付金として年度内に事業実施します。

●「クリーンウッド」利用推進事業 (2億円)

違法伐採対策については、昨年度補正予算で生産国における木材流通実態の情報収集などを行いました。本補正予算では、来年5月の「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(クリーンウッド法)」の施行に向けた対策を追加します。

具体的には、①木材関連事業者が登録実施機関としての登録を行うために必要なマニュアル等の整備、②消費者や事業者に対するクリーンウッド法の趣旨・目的等の広報などを行うこととします。



林業の成長産業化等

●地域材利用拡大緊急対策事業 (5億円)

地域の需要を増大させるための総

合的な取組を引き続き実施します。

本補正予算では、新たに①物流コスト削減による競争力強化と森林所有者への利益還元を図るため、効率的な輸送方法の検討、ICTを活用したモデル輸送システムの開発・普及等を支援します。

また、②原木しいたけ生産の安定経営に向け、生産性や品質向上の実証的な取組に必要な生産資材の導入を支援するほか、③竹材利用の促進を図るため、竹材の新規用途の開拓や、安定供給に向けた竹材生産情報の収集等に対する取組を支援します。

●シカによる森林被害緊急対策事業 (1億円)

シカによる森林被害が深刻な地域において、①シカの広域かつ緊急的な捕獲等を実施するとともに、②GPS等により地域のシカの行動や被害状況の把握調査等を行います。

●森林整備事業 (公共・310億円)

国産材の安定供給体制を構築するとともに地球温暖化を防止するため、間伐や路網の整備、主伐後の再造林等を推進します。



熊本地震からの復旧・復興、 防災・安全対策の加速

●熊本地震木材加工流通施設復旧対策事業 (2億円)

熊本地震により被災した木材加工流通施設の撤去・復旧・整備を支援します。当初は予備費を活用するとしてきましたが、本補正予算により支援を行うこととしました。

●治山事業 (公共・100億円)

全国の活断層周辺や山地災害危険地区等において荒廃山地の復旧や予防治山対策等を推進するとともに、熊本地震の被害に係る崩壊地の拡大等のおそれが高い山地の復旧を実施します。

●山林施設災害復旧等事業 (公共・253億円)

大雨等の被害に係る林道等の災害復旧等事業を早期に実施するとともに、熊本地震の被害に係る林道等の災害復旧等事業を早期に実施します。